

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

奥久慈で栽培した「あしたば」を活用したパウダー、エキスを利用した和洋菓子等の開発と販売

奥久慈地域で栽培した「あしたば」のパウダー・エキスを使用した和洋菓子等の開発と販売を行う。

➤ 連携体

農林漁業者

櫻岡 義信 (農業)

奥久慈地域での「あしたば」の栽培及び「あしたば」のパウダー・エキス化により、原料の通年安定供給を図る。

中小企業者

大子製菓協業組合 (食料品製造業)

奥久慈の「あしたば」を利用し、鮮やかな色合いと健康的なイメージをアピール出来る和洋菓子等の開発と販売を行う。

サポート機関等

(財)茨城県中小企業振興公社、(株)常陽銀行、(独)中小企業基盤整備機構関東支部、(独)日本原子力研究開発機構

➤ 連携の経緯

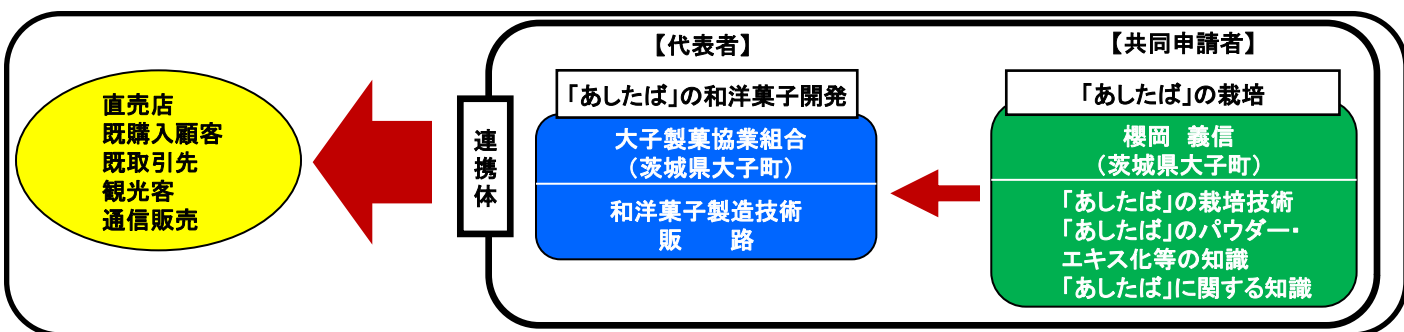
大子製菓協業組合は、観光客への土産品等として、地域の農産物を活用した新たな和洋菓子の開発が課題となっていた。櫻岡義信氏は有機JAS認定された「あしたば」を生産しており、「あしたば」を奥久慈地域の新たな地域ブランド化にするとともに、パウダー・エキスの販路づくりを望んでいた両者の思惑が合致し、連携に至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

櫻岡義信氏は、奥久慈の「あしたば」パウダー・エキスの安定供給の為、栽培面積を拡大する。また、大子製菓協業組合からの依頼に基づき、パウダー・エキスの改良を行うとともに、「あしたば」に関する知識・情報等の提供を行い、商品化の協力を行う。

大子製菓協業組合は、消費者からのニーズを商品開発に反映させながら、櫻岡義信氏から購入した「あしたば」パウダー・エキスを使用し、色鮮やかで健康的なイメージがアピール出来る商品の開発を行うとともに、商品を通して奥久慈の「あしたば」の地域ブランド化を図る。



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で762万円の売上高増加、新たな地域ブランドの確立

奥久慈地域の「あしたば」の販路先確保により、農家の収益向上が図られ、新たな地域ブランドの確立が期待される。

中小企業者

5年で3,700万円の売上高増加、地元農産物を活用した新たな和洋菓子の開発

奥久慈地域の「あしたば」を利用し、独自性のある和洋菓子を開発でき、収益の増加と奥久慈地域の魅力が発信できる。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：大子製菓協業組合
TEL：0295-79-1235
E-mail：info@okukuji.or.jp

所在地：茨城県久慈郡大子町池田728
FAX：0295-72-2598
ホームページ：http://www.maroudo.net/